

CLIPPEDIMAGE= JP02002073983A

PAT-NO: JP02002073983A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002073983 A

TITLE: INTERMEDIARY SYSTEM FOR FINANCING

PUBN-DATE: March 12, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

IZUMISAWA, YUTAKA

COUNTRY

N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

CVS BAY AREA INC

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP2000266559

APPL-DATE: September 4, 2000

INT-CL (IPC): G06F017/60

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To realize an intermediary system for financing that allows reception of the financing by selecting a financial institution presenting most favorable financing terms from a plurality of financial institutions.

SOLUTION: The intermediary system 10 for financing comprises a financing sign-up information database 28 for storing financing sign-up information sent from a user with the financing sign-up information associated with the user, a financing sign-up information extracting and transmitting means 24 for extracting open information, included in the financing sign-up information, from the financing sign-up information database 28 and

transmitting the  
extracted open information to a personal computer 14 of the  
financial  
institution, a financing term information database 40 for  
storing information  
about the financial terms from the financing institution  
with the information  
about the financing terms associated with the transmitted  
financing sign-up  
information including the open information, and a financing  
term information  
extracting and transmitting means 34 for extracting and  
transmitting the  
information about the financing terms that is stored in  
association with the  
financing sign-up information to a personal computer 18 of  
the user who has  
sent the financing sign-up information.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-73983

(P2002-73983A)

(43) 公開日 平成14年3月12日 (2002.3.12)

(51) IntCl<sup>7</sup>

G 0 6 F 17/60

識別記号

2 3 4

3 1 4

5 0 2

F I

G 0 6 F 17/60

キーワード(参考)

2 3 4 A 5 B 0 4 9

3 1 4 5 B 0 5 5

5 0 2

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号

特願2000-266559(P2000-266559)

(22) 出願日

平成12年9月4日(2000.9.4)

(71) 出願人 500118388

株式会社シー・ヴィ・エス・ペイエリア

千葉県浦安市美浜1-9-2

(72) 発明者 泉澤 豊

千葉県浦安市美浜1-9-2 株式会社シ

ー・ヴィ・エス・ペイエリア内

(74) 代理人 100096002

弁理士 奥田 弘之 (外1名)

Fターム(参考) 5B049 BB46 CC00 GG02

5B055 CA05

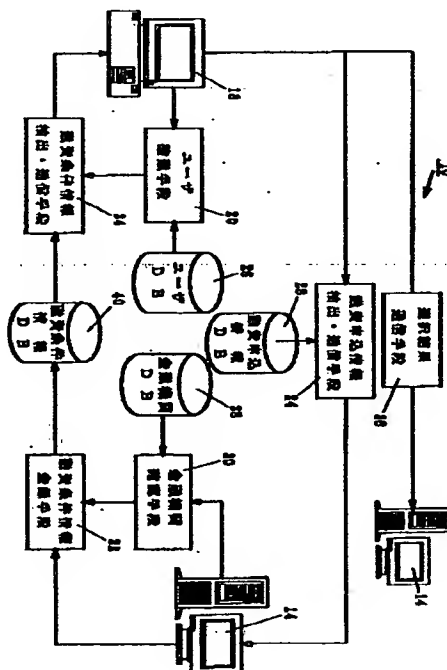
(54) 【発明の名称】 融資仲介システム

(57) 【要約】

(修正有)

【課題】 複数の金融機関の中から、最も有利な融資条件を提示した金融機関を選択して融資を受けることのできる融資仲介システムを実現する。

【解決手段】 ユーザから送信された融資申込情報を、当該ユーザと関連付けて登録しておく融資申込情報データベース28と、各融資申込情報中の公開情報を、融資申込情報データベース28内から抽出すると共に、抽出した公開情報を金融機関のパソコン14に送信する融資申込情報抽出・送信手段24と、上記公開情報の送信された各融資申込情報に対する、金融機関からの融資条件情報を、各融資申込情報と関連付けて登録しておく融資条件情報データベース40と、上記各融資申込情報と関連付けて登録されている融資条件情報を抽出すると共に、各融資申込情報を送信したユーザのパソコン18に送信する融資条件情報抽出・送信手段34と、を備えた融資仲介システム10。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザから送信された借入希望金額、融資の目的、返済期間等の融資申込情報を、当該ユーザと関連付けて登録しておく融資申込情報記憶手段と、各融資申込情報中の公開情報を、上記融資申込情報記憶手段内から抽出すると共に、抽出した公開情報を金融機関の情報端末に送信する融資申込情報抽出・送信手段と、

上記公開情報の送信された各融資申込情報に対する、金融機関からの融資条件情報を、各融資申込情報と関連付けて登録しておく融資条件情報記憶手段と、

上記融資条件情報記憶手段内から、上記各融資申込情報と関連付けて登録されている融資条件情報を抽出すると共に、抽出した融資条件情報を、上記各融資申込情報を送信したユーザの情報端末に送信する融資条件情報抽出・送信手段と、を備えたことを特徴とする融資仲介システム。

【請求項2】 ユーザの融資申込情報に対する融資条件情報を送信した金融機関の中から、当該ユーザによる金融機関の選択指示が送信されると、上記融資申込情報抽出・送信手段は、上記融資申込情報記憶手段内から上記融資申込情報の全ての情報を抽出し、抽出した全ての融資申込情報を、選択された金融機関の情報端末に送信することを特徴とする請求項1に記載の融資仲介システム。

【請求項3】 請求項2に記載の融資仲介システムにおいて、ユーザによる選択がされなかった金融機関の情報端末に対し、選択された金融機関の融資条件情報中の少なくとも金利条件情報を送信する選択結果送信手段を備えたことを特徴とする融資仲介システム。

【請求項4】 各ユーザに、固有の識別コード及びパスワードを付与し、ユーザの情報端末から入力された識別コード及びパスワードが、予め登録されている識別コード及びパスワードと一致するか否かを確認するユーザ確認手段、を備えたことを特徴とする請求項1乃至3の何れかに記載の融資仲介システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、融資仲介システムに係り、特に、融資を希望するユーザが、複数の金融機関の中から最も融資条件の良い金融機関を選択して融資を受けることができる融資仲介システムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、消費者が金融機関からの融資を受けようとする場合には、金融機関を訪れ、当該金融機関で準備している所定の融資申込書に、融資資金の使用目的や、自己の氏名、住所、年収、保有資産、勤務先、家族構成等の個人情報を記入して申し込むのが一般的であった。そして、融資申込を受けた金融機関は、上記融資申込書に記入された情報を元に審査を行い、融資の可否を決定していた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、消費者は複数の金融機関に対して、同時並行的に融資申込を行うことも可能ではあるが、複数の金融機関を訪れて融資申込を行うには手間や時間がかかるため、実際には預金等で取引関係のある一つの金融機関に対して融資申込を行うのが一般的であった。このため、審査を通り、申込をした金融機関から融資を受けられたとしても、金利等の融資条件に関しては、当該金融機関から提示される条件を受け入れざるを得なかった。また、融資申込をした金融機関の審査に通らなかった場合、融資を受けられないのは止むを得ないとしても、上記融資申込書に記入した氏名、住所、年収、保有資産、勤務先、家族構成等の重要な個人情報が当該金融機関に流出するという事態が生じていた。

【0004】 この発明は、上記問題を解決するために案出されたものであり、融資申込をするユーザが、複数の金融機関の中から、最も有利な融資条件を提示した金融機関を選択して融資を受けることのできる融資仲介システムの実現を目的とする。また、ユーザの重要な個人情報が、融資を受ける金融機関以外に流出することのない仕組みを備えた融資仲介システムの実現を目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 上記の目的を達成するため、請求項1に係る融資仲介システムは、ユーザから送信された借入希望金額、融資の目的、返済期間等の融資申込情報を、当該ユーザと関連付けて登録しておく融資申込情報記憶手段と、各融資申込情報中の公開情報を、上記融資申込情報記憶手段内から抽出すると共に、抽出した公開情報を金融機関の情報端末に送信する融資申込情報抽出・送信手段と、上記公開情報の送信された各融資申込情報に対する、金融機関からの融資条件情報を、各融資申込情報と関連付けて登録しておく融資条件情報記憶手段と、上記融資条件情報記憶手段内から、上記各融資申込情報と関連付けて登録されている融資条件情報を抽出すると共に、抽出した融資条件情報を、上記各融資申込情報を送信したユーザの情報端末に送信する融資条件情報抽出・送信手段と、を備えたことを特徴とする。

【0006】 請求項1に係る融資仲介システムにあっては、ユーザの融資申込情報中の公開情報が金融機関に送信されると共に、上記公開情報が送信された融資申込情報に対する、金融機関からの融資条件情報が、上記融資申込情報を送信したユーザの情報端末に送信されるので、ユーザは、自己の融資申込情報に対する融資条件情報を送信した複数の金融機関の中から最も有利な融資条件を提示した金融機関を選択して融資を受けることができる。また、金融機関の情報端末には、融資申込情報中の公開情報だけが送信されるようになっている。このため、融資申込情報中において、申込人氏名、住所等、個

人の特定が可能となる情報は非公開情報とし、一方、個人の特定が可能でない情報は公開情報とすれば、融資を受けない金融機関にユーザの個人情報が出流することを防止できる。

【0007】請求項2に係る融資仲介システムは、上記請求項1に記載の融資仲介システムにおいて、ユーザの融資申込情報に対する融資条件情報を送信した金融機関の中から、当該ユーザによる金融機関の選択指示が送信されると、上記融資申込情報抽出・送信手段は、上記融資申込情報記憶手段内から上記融資申込情報の全ての情

10 報を抽出し、抽出した全ての融資申込情報を、選択された金融機関の情報端末に送信することを特徴とする。

【0008】請求項2に係る融資仲介システムにあっては、ユーザの融資申込情報に対する融資条件情報を送信した金融機関の中から、当該ユーザに選択された金融機関の情報端末に対して、公開情報以外の非公開情報を含む全ての融資申込情報が送信されるようになっている。このため、個人の特定が可能となる情報を非公開情報としていた場合にも、ユーザに選択された金融機関に対しては、個人の特定が可能となる非公開情報も送信される

20 ので、ユーザと、当該ユーザに選択された金融機関とは、融資の実行に向けたより具体的な交渉が可能となる。

【0009】請求項3に係る融資仲介システムは、上記請求項2に記載の融資仲介システムにおいて、ユーザによる選択がされなかった金融機関の情報端末に対し、選択された金融機関の融資条件情報中の少なくとも金利条件情報を送信する選択結果送信手段を備えたことを特徴とする。

30 【0010】請求項3に係る融資仲介システムにあっては、ユーザによる選択がされなかった金融機関の情報端末に対し、選択された金融機関の融資条件情報中の少なくとも金利条件情報が送信されるので、ユーザに選択されなかった金融機関は、選択された金融機関の金利条件情報を検討することにより、次の融資条件情報登録時の金利条件の決定等に関して対策を立てることができ

40 る。また、ユーザに選択された金融機関の金利条件情報が、ユーザに選択されなかった金融機関に対して送信されることで、金融機関同士の競争が促進されることとなり、ユーザにとっては、より有利な融資を受けることが

50 できる機会が拡大する。

【0011】請求項4に係る融資仲介システムは、上記請求項1乃至3に記載の融資仲介システムにおいて、各ユーザに、固有の識別コード及びパスワードを付与し、ユーザの情報端末から入力された識別コード及びパスワードが、予め登録されている識別コード及びパスワードと一致するか否かを確認するユーザ確認手段、を備えたことを特徴とする。上記ユーザ確認手段により、識別コード及びパスワードを入力した者が、本システムのユーザであるか否かを確認することができ、本システムの不

正使用を防止することができる。

【0012】

【発明の実施の形態】図1は、この発明に係る融資仲介システム10の全体イメージを示すものであり、このシステム10の運用者が管理するセンターサーバ12と、このシステムを利用する多数の金融機関の管理する情報端末としてのパソコン14と、本システムの多数のユーザ16が管理する情報端末としてのパソコン18とが、インターネットを介してネットワーク接続されている。上記金融機関には、銀行の他、信用金庫、信用組合、郵便局、消費者金融等、資金融資業務を営むあらゆる法人が含まれる。尚、上記センターサーバ12と、金融機関のパソコン14と、ユーザ16のパソコン18とは、専用回線を介して接続することもできる。

【0013】上記センターサーバ12は、WWW (World Wide Web) サーバ機能、メールサーバ機能、アプリケーションサーバ機能、データベースサーバ機能等を備えており、複数のワークステーションやパソコンをネットワーク接続することによって構成されている。

20 【0014】図2は、この融資仲介システムが果たす諸機能の中で、融資を受けたいユーザが融資申込情報の登録を行う場面、及び、上記融資申込情報中の公開情報を抽出し、金融機関のパソコンに送信する場面における機能構成を示すブロック図であり、ユーザ確認手段20、融資申込情報登録手段22、融資申込情報抽出・送信手段24、ユーザデータベース26、融資申込情報データベース28とが用いられている。上記ユーザ確認手段20、融資申込情報登録手段22、融資申込情報抽出・送信手段24は、センターサーバ12を構成するコンピュータのCPUが、OSや専用プログラムに従って所定の処理を実行することによって実現される。上記ユーザデータベース26、融資申込情報データベース28は、センターサーバ12を構成するコンピュータのハードディスク内に格納されている。

30 【0015】図3は、この融資仲介システムが果たす諸機能の中で、金融機関がユーザからの融資申込情報に対する融資条件情報の登録を行う場面、上記融資条件情報をユーザのパソコンに送信する場面、及び、ユーザが融資申込を選択した金融機関に対して全ての融資申込情報を送信する場面における機能構成を示すブロック図であり、金融機関確認手段30、融資条件情報登録手段32、ユーザ確認手段20、融資条件情報抽出・送信手段34、融資申込情報抽出・送信手段24、選択結果送信手段36、金融機関データベース38、融資条件情報データベース40、ユーザデータベース26、融資申込情報データベース28とが用いられている。上記金融機関確認手段30、融資条件情報登録手段32、ユーザ確認手段20、融資条件情報抽出・送信手段34、融資申込情報抽出・送信手段24、選択結果送信手段36は、センターサーバ12を構成するコンピュータのCPUが、OSや専用プログラムに従って所定の処

理を実行することによって実現される。上記金融機関データベース38、融資条件情報データベース40、ユーザデータベース26、融資申込情報データベース28は、センターサーバ12を構成するコンピュータのハードディスク内に格納されている。

【0016】このシステム10を稼働させるためには、まずインターネット上に散在している多数のユーザ16を一方の会員として取り込み、各ユーザ16の各種属性情報を上記ユーザデータベース26内に登録しておく。すなわち、このシステム10の利用を希望するユーザ16は、自己10のパソコン18からセンターサーバ12のURLを入力し、インターネット経由でシステム10のWebサイトにアクセスし、ユーザ用の「入会申込フォーム」をブラウザプログラムを介してパソコン18の画面上に表示させる。そして、自己の氏名、住所、電子メールアドレス、年齢、性別等の属性情報を入力し、システム10側に送信する。システム10では、図示しない登録手段によって、新規ユーザの属性情報が、当該新規ユーザ固有のID（識別コード）及びパスワードに関連付けられてユーザデータベース26内に格納される。各ユーザに付与される上記ID及びパスワードは、システム10から電子メール等を介して各ユーザ16に告知される。各ユーザ16はこれ以降、ID及びパスワードの入力による確認手続を経てシステム10にログインし、本システム10を利用した融資申込が認められる。尚、上記ユーザ16としては、個人（自然人）だけでなく、法人も含まれる。

【0017】また、不正な意図を持った者の加入を阻止し、システム10の信頼性を高めるために、ユーザ16の新規加入に際して、運転免許証、住民票等の本人確認書類の提出を求め、一定の基準に照らして加入の是非を審査するようにしても良い。この場合、上記本人確認書類は、スキャナで読み込んで電子ファイル化した上で、センターサーバ12宛に送信させれば良い。

【0018】つぎに、ユーザ16への融資を実施する金融機関を他方の会員として取り込み、これら金融機関の各種属性情報を上記金融機関データベース38内に登録しておく。すなわち、このシステム10への入会を希望する金融機関は、自社のパソコン14からセンターサーバ12のURLを入力し、インターネット経由でシステム10のWebサイトにアクセスし、金融機関用の「入会申込フォーム」をブラウザプログラムを介してパソコン14の画面上に表示させる。そして、自社の名称、本店所在地、資本金、従業員数、担当部署、担当者名、電話番号、電子メールアドレス等の属性情報を入力し、システム10側に送信する。システム10では、図示しない登録手段によって、新規金融機関の属性情報が、当該新規金融機関固有のID（識別コード）及びパスワードに関連付けられて金融機関データベース38内に格納される。上記ID及びパスワードは、システム10から電子メール等を介して各金融機関に告知される。各金融機関はこれ以降、ID及びパス

ワードの入力による確認手続を経てシステム10にログインし、ユーザ16からの融資申込情報の受信、融資申込に対する融資条件情報の登録等を行うことが認められる。

【0019】尚、不良な金融機関の加入を阻止するために、金融機関の新規加入に際して、登記簿謄本等の組織確認書類や、貸借対照表、損益計算書等の財務書類の提出を求め、一定の基準に照らして加入の是非を審査するのが望ましい。この場合、上記組織確認書類や財務書類は、スキャナで読み込む等して電子ファイル化した上で、センターサーバ12宛に送信させれば良い。

【0020】以下において、図2のブロック図及び図4のフローチャートに基づき、ユーザによる融資申込情報の登録と、金融機関のパソコン14に対して、上記融資申込情報中の公開情報の送信を行う際の処理手順を説明する。融資申込を行うユーザ16は、まず、自己のパソコン18からインターネット経由でセンターサーバ12のWebサイトにアクセスし、ユーザID及びパスワードをセンターサーバ12に入力する（S10）。上記ユーザID及びパスワードが入力されると、ユーザ確認手段20は、当該ユーザID及びパスワードをキーにユーザデータベース26内を検索し、予め登録されているユーザID及びパスワードと、入力されたユーザID及びパスワードとが一致するか否か確認する。

【0021】ここで肯定的な判定が得られると（S12）、WebサイトからHTML形式のWebページが送信され、ユーザ16のパソコン18に組み込まれたブラウザプログラムの機能により、図5に示す融資申込情報の登録用の画面がパソコン18のディスプレイ上に表示される（S14）。ここで、ユーザ16は、借入希望金額や、返済期間、融資の目的、氏名、住所といった各種の融資申込情報を入力する。各ユーザ16は、融資申込情報として、金融機関が融資の可否を審査するために十分な情報の入力が必要とされる。図5においては、図示の便宜上一部の入力項目のみを表示したが、画面中の「次頁」ボタンをクリックすることにより他の入力項目が表示される。

【0022】図6～図10は、融資申込情報の入力項目例を示すものであり、図6は、申込人情報に関する各種入力項目、図7は、借入内容に関する各種入力項目、図8及び図9は、申込人状況に関する各種入力項目、図10は、住宅ローン借換時の各種追加入力項目を示すものである。すなわち、図6においては、申込人情報に関する入力項目として、氏名、住所、電話番号、メールアドレス、性別、年齢、婚姻の有無等が例示されている。図7においては、借入内容に関する入力項目として、借入希望金額、返済期間、借入希望日、予定の担保、保証人等が例示されている。図8においては、申込人状況に関する入力項目として、職業、仕事の内容、勤務先名称、勤務先の資本金、従業員数等が例示されている。図9においては、申込人状況に関する入力項目として、保有資産、負債、年間収入、年間返済額、家族構成等が例示さ

れている。図10においては、住宅ローン借換時の各種追加入力項目として、当初借入金額、借入期間、借入利率、毎月返済金額、ローン残高、残存期間等が例示されている。尚、上記入力項目はあくまでも一例であり、必要に応じて増減、変更させることができる。

【0023】図6～図10において、各入力項目と対応する「公開」欄及び「非公開」欄に付けられている「○」や「×」は、当該入力項目の情報を公開情報とするか、或いは非公開情報とするかを示すものであり、「公開」欄に「×」、「非公開」欄に「○」が付けられている場合には、当該入力項目の情報を「非公開情報」とすることを示し、一方、「公開」欄に「○」、「非公開」欄に「×」が付けられている場合には、当該入力項目の情報を「公開情報」とすることを示している。上記融資申込情報における各入力項目の情報を、公開情報とするか否かは、当該入力項目の情報が金融機関に公開された場合に、融資申込ユーザや、その家族等の個人が特定されてしまうか否かの観点から決定されるものであり、個人の特定が可能となる入力項目の情報は非公開情報となされ、一方、個人の特定が不可能な入力項目の情報は公開情報となされる。勿論、各入力項目情報を公開情報とするか、非公開情報とするかの区別は状況に応じて適宜変更することができる。

【0024】尚、「公開」欄及び「非公開」欄の双方に「△」が付けられている場合には、当該入力項目の情報を「一部公開情報」とすることを示すものである。すなわち、図7における入力項目「予定の担保」の情報に関しては、予定担保が不動産の場合には、その所在地の情報も入力されるが、所在地情報は公開すると個人の特定が可能となるため非公開とされ、「有り（不動産）」の如き一部の情報だけが公開される。また、図7における入力項目「保証人」については、保証人氏名等は公開情報とされず、単に「有り」又は「無し」程度の情報が公開される。また、図9における入力項目「家族構成」については、家族の氏名、勤務先／学校名等個人の特定が可能となる情報は非公開とし、「配偶者、子供2人」等、家族の続柄と人数程度の情報が公開される。さらに、図10における入力項目「住宅所在地」については、例えば「東京都杉並区荻窪」の如く、都道府県名・市区町村名程度の情報が公開される。尚、融資申込情報における各入力項目の情報を、上記の如く、一部公開情報とするか否かは、当該入力項目の情報を全て公開した場合に、融資申込ユーザや、その家族、保証人等の個人が特定されてしまうか否かの観点から決定されるものであり、当該入力項目の情報を全て公開すると個人の特定が可能となる場合には、当該入力項目の情報は一部のみ公開情報となされる。勿論、各入力項目の情報を一部のみ公開情報とするか否かは、状況に応じて適宜変更可能である。

【0025】また、図6～図10において、各入力項目

と対応する「使途別必須項目」の「A住宅」欄、「B自動車」欄及び「Cその他」欄に付けられている「◎」

「×」は、融資の目的（使途）に応じて、当該入力項目への情報入力ユーザ16に義務付けられるか否かを示すものであり、「◎」が付けられている場合には、当該入力項目への情報入力ユーザ16に義務付けられ、「×」が付けられている場合には、当該入力項目への情報入力が免除されることを示している。すなわち、「A住宅」欄は、融資資金の使途が住宅購入資金や住宅ローン借り換え等の住宅資金の場合に、各入力項目への情報入力が必須であるか否かを示しており、住宅資金は「高額・長期間」の融資となり、金融機関の融資リスクが大きいいため、全ての入力項目への情報入力が必須とされている。また、「B自動車」欄は、融資資金の使途が自動車購入資金等の場合に、各入力項目への情報入力が必須であるか否かを示しており、自動車購入資金は「中額・中期間」の融資となり、住宅資金の場合に比べると金融機関の融資リスクが小さいため、一部の入力項目への情報入力が免除されている。さらに、「Cその他」欄は、融資資金の使途が、上記住宅資金や自動車購入資金以外の「低額・短期」の資金の場合に、各入力項目への情報入力が必須であるか否かを示しており、上記自動車購入資金の場合に比べ、金融機関の融資リスクが小さいため、更に多くの入力項目への情報入力が免除されている。上記において、融資資金の使途に対応して、いかなる入力項目への情報入力を必須とするか否かは、状況に応じて適宜変更可能である。

【0026】ユーザ16は、融資の目的（使途）に応じて、情報入力が必須となされている入力項目に必要な情報を入力した後、図示しない「送信」ボタンをクリックすることにより、入力された融資申込情報がセンターサーバ12に送信される。これを受けたセンターサーバ12では（S16）、融資申込情報登録手段22が、融資申込情報を融資申込情報データベース28内に登録する（S18）。この際、各融資申込情報には、固有のID（識別コード）が付与され、この融資申込情報IDと、当該融資申込情報及び当該融資申込情報を送信したユーザ16のユーザIDとが関連付けられて融資申込情報データベース28内に登録される。尚、上記融資申込情報IDとして、当該融資申込情報を送信したユーザ16のユーザIDを用いても良い。

【0027】新規の融資申込情報が登録されると、融資申込情報抽出・送信手段24により、融資申込情報データベース28内から、新規登録された融資申込情報中の公開情報を抽出し、抽出した公開情報を、会員である金融機関のパソコン14に送信するのである（S20）。図11は、金融機関のパソコン14のディスプレイ上に表示された融資申込情報の一例を示すものであり、融資申込情報のIDを筆頭に、借入希望金額、返済期間、申込ユーザの性別・年齢、ユーザID（0011）、年収等、融資

申込情報中の公開情報が表示されており、ユーザ16の氏名や住所といった非公開情報は含まれていない。

【0028】次に、図3のブロック図及び図12のフローチャートに基づき、金融機関による融資条件情報の登録、上記融資条件情報のユーザ16への送信、及びユーザ16が融資申込を選択した金融機関のパソコン14に対し、非公開情報を含む全ての融資申込情報の送信を行う際の処理手順を説明する。センターサーバ12から送信された融資申込情報(図11参照)を検討し、当該融資申込情報に対する融資を実行しようとする金融機関は、先ず、自社のパソコン14からインターネット経由でセンターサーバ12のWebサイトにアクセスし、金融機関ID及びパスワードをセンターサーバ12に入力する(S30)。上記金融機関ID及びパスワードが入力されると、金融機関確認手段30は、当該金融機関ID及びパスワードをキーに金融機関データベース38内を検索し、予め登録されている金融機関ID及びパスワードと、入力された金融機関ID及びパスワードとが一致するか否か確認する。

【0029】ここで肯定的な判定が得られると(S32)、WebサイトからHTML形式のWebページが送信され、金融機関のパソコン14に組み込まれたブラウザプログラムの機能により、図13に示す融資条件情報の登録用の画面がパソコンのディスプレイ上に表示される(S34)。図13は、図示の便宜上一部の入力項目のみを表示したものであり、必要に応じて融資条件情報の入力項目は追加・変更されるものである。ここで、金融機関は、融資を実行しようとする融資申込情報ID、融資可能金額、金利条件(％、固定・変動)、返済期間等の融資条件情報を入力する。所定の融資条件情報を入力後、図示しない「送信」ボタンをクリックすることにより、入力された融資条件情報がセンターサーバ12に送信される。これを受けたセンターサーバ12では(S36)、融資条件情報登録手段32が、送信された融資条件情報を、当該融資条件情報と対応する融資申込情報のID及び当該融資条件情報を送信した金融機関のIDと関連付けて、融資条件情報データベース40内に登録する(S38)。

【0030】次に、自己の融資申込情報に対する金融機関からの融資条件情報を得ようとするユーザ16は、自己のパソコン18からインターネット経由でセンターサーバ12のWebサイトにアクセスし、ユーザID及びパスワードをセンターサーバ12に入力する(S40)。上記ユーザID及びパスワードが入力されると、ユーザ確認手段20は、当該ユーザID及びパスワードをキーにユーザデータベース26内を検索し、予め登録されているユーザID及びパスワードと、入力されたユーザID及びパスワードとが一致するか否か確認する。

【0031】ここで肯定的な判定が得られ(S42)、当該ユーザ16から自己の融資申込情報に対する融資条件情報の送信要求を受けると、融資条件情報抽出・送信手段34が、上記ユーザの融資申込情報のIDと関連付けて登

録されている融資条件情報を、上記融資条件情報データベース40内から抽出し、抽出した融資条件情報を、ユーザ16のパソコン18に送信する(S44)。図14は、ユーザ16のパソコン18のディスプレイ上に表示された融資条件情報の一例を示すものであり、当該融資申込情報に対し、複数の金融機関から送信された融資条件情報の一覧が表示されている。図14においては、融資条件情報を送信した金融機関の名称、金利等が示されている。尚、画面中の「詳細」ボタンをクリックすることにより、各金融機関毎の更に詳しい融資条件情報(返済期間、毎月返済額等)が表示されるようになっている。

【0032】ユーザ16は、複数の金融機関から呈示された融資条件情報を比較検討し、具体的に融資申込を行いたい金融機関の選択欄にチェック「×」を入れた上で、「決定」ボタンをクリックすることにより、センターサーバ12に対して金融機関の選択指示を送信する。上記金融機関の選択指示を受けると(S46)、融資申込情報抽出・送信手段24は、融資申込情報データベース28内から、当該融資申込情報中の非公開情報を含む全ての情報を抽出し、抽出した全ての融資申込情報を、選択された金融機関のパソコン16に送信する(S48)。

【0033】ユーザ16と、当該ユーザ16に融資申込先として選択された金融機関とは、これ以後、本システム10を介することなく、直接面談や電話等を介して交渉し、融資の実行が行われることとなる。

【0034】また、ユーザ16から融資申込金融機関として選択されなかった金融機関に対しては、選択結果送信手段36により、所定情報を含む選択結果が送信される(S50)。この選択結果に含まれる情報としては、当該金融機関の不選択情報の他に、ユーザに選択された金融機関の金利条件情報、その他の融資条件情報が含まれる。但し、融資条件情報中において、ユーザ16に選択された金融機関を特定可能な情報は、上記選択結果に含まないものとされる。上記情報を含む選択結果が送信された金融機関では、ユーザ16に選択された金融機関の金利条件情報等の融資条件情報を検討することで、次の融資条件情報登録時の金利条件の決定等に関して対策を立てることができる。また、ユーザ16に選択された金融機関の金利条件情報等の融資条件情報が、ユーザ16に選択されなかった金融機関に対して送信されることで、金融機関同士の競争が促進されることとなり、ユーザ16にとっては、より有利な融資を受けることができる機会が拡大する。

【0035】上記の通り、本システム10においては、ユーザ16の融資申込情報が、会員である複数の金融機関に送信されると共に、上記融資申込情報に対する複数の金融機関からの融資条件情報がユーザ16宛に送信されるものである。このため、ユーザ16は、複数の金融機関の中から最も有利な融資条件を提示した金融機関を選択して融資を受けることができる。

10

20

30

40

50



## 11

【0036】また、ユーザ16が融資申込先として選択した金融機関以外には、融資申込情報中の個人の特定が可能でない公開情報だけが送信されるため、融資を受けない金融機関にユーザ16の個人情報が流出することを防止することができる。

## 【0037】

【発明の効果】請求項1に係る発明にあっては、ユーザの融資申込情報中の公開情報が金融機関に送信されると共に、上記公開情報が送信された融資申込情報に対する、金融機関からの融資条件情報が、上記融資申込情報を送信したユーザの情報端末に送信されるので、ユーザは、自己の融資申込情報に対する融資条件情報を送信した複数の金融機関の中から最も有利な融資条件を提示した金融機関を選択して融資を受けることができる。また、金融機関の情報端末には、融資申込情報中の公開情報だけが送信されるようになっている。このため、融資申込情報中において、申込人氏名、住所等、個人の特定が可能となる情報は非公開情報とし、一方、個人の特定が可能でない情報は公開情報とすれば、融資を受けない金融機関にユーザの個人情報が流出することを防止できる。

【0038】請求項2に係る発明にあっては、ユーザの融資申込情報に対する融資条件情報を送信した金融機関の中から、当該ユーザに選択された金融機関の情報端末に対して、公開情報以外の非公開情報を含む全ての融資申込情報が送信されるようになっている。このため、個人の特定が可能となる情報を非公開情報としていた場合にも、選択された金融機関には、個人の特定が可能となる非公開情報も送信されるので、ユーザと、当該ユーザに選択された金融機関とは、融資の実行に向けたより具体的交渉が可能となる。

【0039】請求項3に係る発明にあっては、ユーザによる選択がされなかった金融機関の情報端末に対し、選択された金融機関の融資条件情報中の少なくとも金利条件情報が送信されるので、ユーザに選択されなかった金融機関は、選択された金融機関の金利条件情報を検討することで、次の融資条件情報登録時の金利条件の決定等に関して対策を立てることができる。また、ユーザに選択された金融機関の少なくとも金利条件情報が、ユーザに選択されなかった金融機関に対して送信されることで、金融機関同士の競争が促進されることとなり、ユーザにとっては、より有利な融資を受けることができる機会が拡大する。

【0040】請求項4に係る発明にあっては、識別コード及びパスワードを入力した者が、本システムのユーザであるか否かを確認することができ、本システムの不正使用を防止することができる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る融資仲介システムの全体構成を示すイメージ図である。

## 12

【図2】融資申込情報の登録と、金融機関に対して上記融資申込情報中の公開情報の送信を行う場面における機能構成を示すブロック図である。

【図3】金融機関による融資条件情報の登録、上記融資条件情報のユーザへの送信、及びユーザが選択した金融機関に対し全ての融資申込情報の送信を行う場面における機能構成を示すブロック図である。

【図4】融資申込情報の登録と、金融機関に対して上記融資申込情報中の公開情報の送信を行う際の処理手順を示すフローチャートである。

【図5】融資申込情報を入力する際の画面表示例を示す説明図である。

【図6】融資申込情報中の申込人情報に関する各種入力項目を示す説明図である。

【図7】融資申込情報中の借入内容に関する各種入力項目を示す説明図である。

【図8】融資申込情報中の申込人状況に関する各種入力項目を示す説明図である。

【図9】融資申込情報中の申込人状況に関する各種入力項目を示す説明図である。

【図10】融資申込情報中の住宅ローン借換時の各種追加入力項目を示す説明図である。

【図11】金融機関に送信された融資申込情報の画面表示例を示す説明図である。

【図12】金融機関による融資条件情報の登録、上記融資条件情報のユーザへの送信、及びユーザが選択した金融機関に対し全ての融資申込情報の送信を行う際の処理手順を示すフローチャートである。

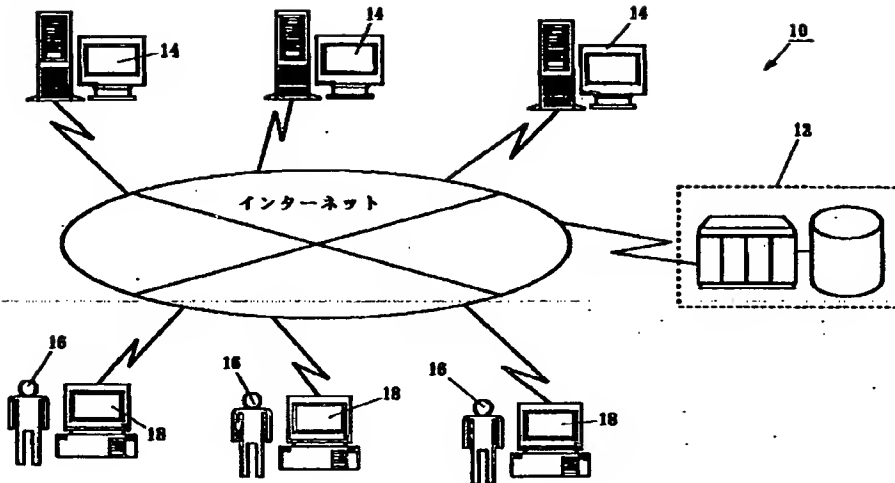
【図13】融資条件情報を入力する際の画面表示例を示す説明図である。

【図14】ユーザに送信された融資条件情報の画面表示例を示す説明図である。

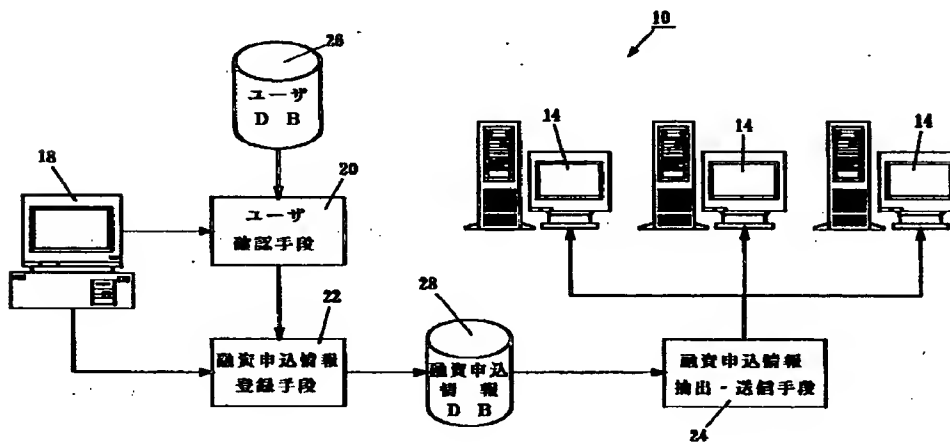
## 【符号の説明】

- 10 融資仲介システム
- 12 センターサーバ
- 14 金融機関のパソコン
- 16 ユーザ
- 18 ユーザのパソコン
- 20 ユーザ確認手段
- 22 融資申込情報登録手段
- 24 融資申込情報抽出・送信手段
- 26 ユーザデータベース
- 28 融資申込情報データベース
- 30 金融機関確認手段
- 32 融資条件情報登録手段
- 34 融資条件情報抽出・送信手段
- 36 選択結果送信手段
- 38 金融機関データベース
- 40 融資条件情報データベース

【図1】



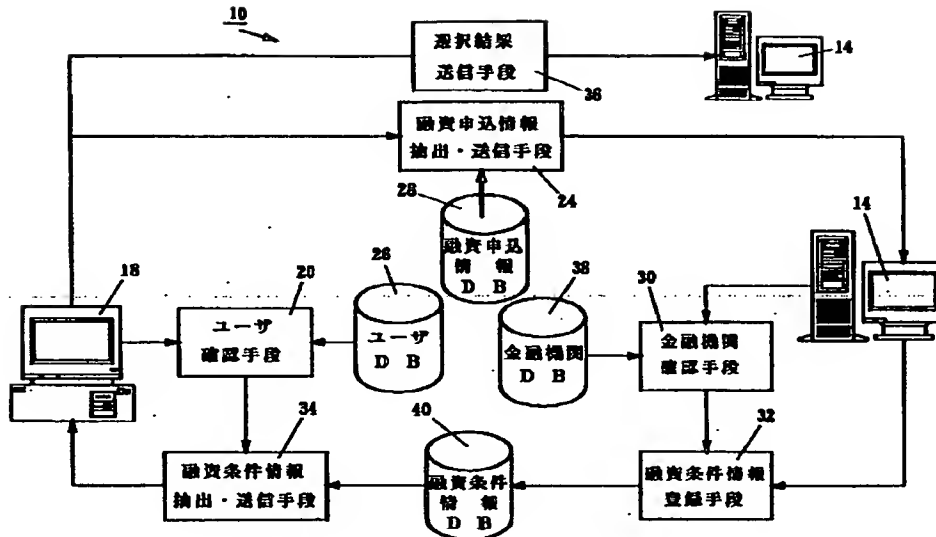
【図2】



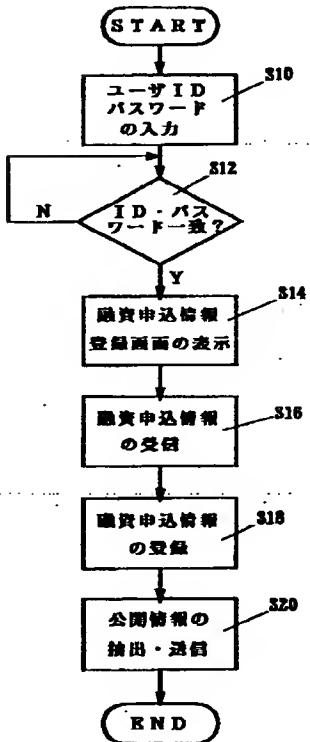
【図6】

【申込人情報入力項目】		公開	非公開	使用別必須項目		
				A住宅	B自動車	Cその他
氏 名		×	○	●	●	●
氏名ふりがな		×	○	●	●	●
郵便番号		×	○	●	●	●
住 所		×	○	●	●	●
電話番号		×	○	●	●	●
メールアドレス		×	○	●	●	●
生年月日		×	○	●	●	●
年 齢		○	×	●	●	●
性 別		○	×	●		●
婚姻の有無		×	○		●	

【図3】



【図4】



【図5】

借入希望金額:	2,000,000 円
返済期間:	2 年 0 月
融資の目的:	自動車購入
氏名:	佐藤○男
氏名ふりがな:	さとうまるお
住所:	東京都杉並区荻窪○-○-○
電話番号:	03-00-0000
年齢:	38
性別:	男
家族構成:	配偶者 子供2人
勤務先名称:	〇〇〇商事株式会社
勤続年数:	16 年
年収:	給与600万円 その他20万円
他ローン残高:	借入金400万円
次頁	

【図7】

【借入内容入力項目】		公開	非公開	使途別必須項目		
				A住宅	B自動車	Cその他
借入希望金額		○	×	○	○	○
返済期間		○	×	○	○	○
借入希望日		○	×	○	○	○
毎月返済日		○	×	○	○	○
ボーナス時返済月	ボーナス返済有りの場合	○	×	○	○	○
融資の目的（使途）	1土地付建物（新築・中古）2土地3建物（新築・増改築・中古）4住宅ローン借換5納税6自家用車7教育費8結婚資金9レジャー10福祉介護11娯楽12カルチャー13その他	○	×	○	○	○
金利	1変動 2固定×年 3上限金利設定 4固定	○	×	○	○	×
融資支払先	名前・住所・電話番号・担当者名・振込口座 口座番号（当座／普通）	×	○	○	○	○
予定の担保	不動産（所在地）・その他（種類／数量）	△	△	○	×	×
保証人	保証人有無・保証人氏名・住所・電話番号・年齢・生年月日・勤務先・勤続年数等	△	△	○	○	×

【図8】

【申込状況入力項目No. 1】		公開	非公開	使途別必須項目		
				A住宅	B自動車	Cその他
職 業	1会社員2官公庁3医師4教師5自営業6年金受給者7その他（ ）	○	×	○	○	○
仕事の内容	1営業2事務職3技術職4店頭販売5労務6その他（ ）	○	×	○	○	○
勤務先名称		○	×	○	○	○
勤務先住所		○	×	○	○	○
勤務先電話番号		×	○	○	○	○
所 属		×	○	○	○	○
役職名		×	○	○	○	○
役 職	1全社オーナー2会社役員3部長課長4課長5係長6一般	○	×	○	○	○
業 種	1製造/建設2卸/小売3公共4飲食5運輸6セールズ7教育/医療8放送/出版9金融10不動産11農水12その他（ ）	○	×	○	○	○
資本金	A1千万未満B1千万以上C5千万以上D1億以上E5億以上	○	×	○	○	○
従業員数	A10名未満B10名以上C50名以上D100名以上E300名以上F1000名以上	○	×	○	○	○
定年年齢		○	×	○	○	○
勤続年数		○	×	○	○	○

【図9】

【申込人状況入力項目No. 2】		公開	非公開	使途別必須項目		
				A住宅	B自動車	Cその他
保有資産	預貯金・有価証券・土地・建物	○	×	○	○	×
負債	借入金	○	×	○	○	×
年間収入	給与・賞与・不動産賃貸収入・配当金・その他・家族収入	○	×	○	○	○
年間返済額	借入金・カードローン合計	○	×	○	×	×
本件借入計画	総額（本件・在公・年金・自己資金・その他）	○	×	○	×	×
申込人居住状況	A 1 持家（本人／家族所有）2 住宅3 アパート ／借家 B 居住年数	○	×	○	○	○
定年後返済計画	1 退職金 2 預貯金 3 有価証券売却・手給与 4 借入金 5 借入金／借入金／担保付	○	×	○	○	×
取引金融機関	銀行（預金／借入金／担保付）・証券（株式） ・郵便局（貯蓄／借入金／担保付）	○	×	○	×	×
カード利用	利用中カード会社	○	×	○	×	×
家族構成	名前・同別居・性別・年齢・生年月日・勤務先 ／子孫名	△	△	○	×	×

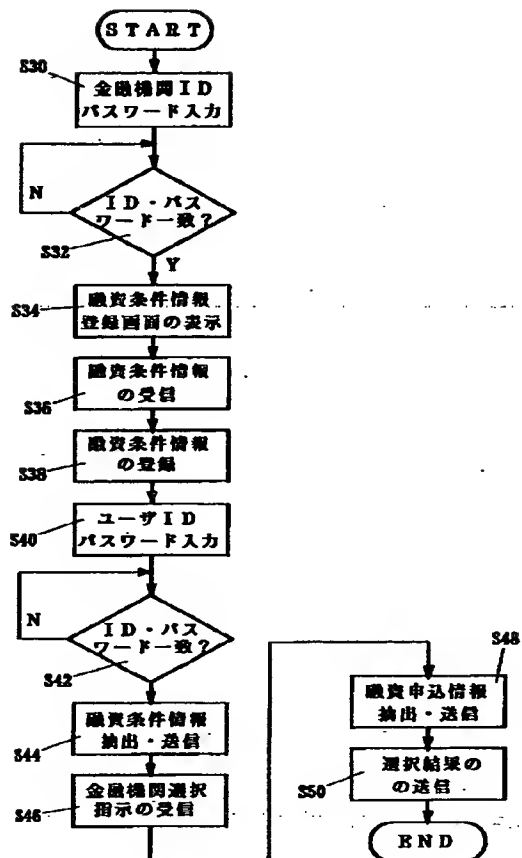
【図10】

【住宅ローン借換時追加入力項目】		公開	非公開	使途別必須項目		
				A住宅	B自動車	Cその他
当初借入金額		○	×	○	×	×
借入期間		○	×	○	×	×
借入利率		○	×	○	×	×
毎月返済金額		○	×	○	×	×
ボーナス時返済金額		○	×	○	×	×
ローン残高		○	×	○	×	×
残存期間		○	×	○	×	×
借換後新借入期間		○	×	○	×	×
借換後ボーナス返済分	(        ) %	○	×	○	×	×
住宅所在地	現住所と異なる場合	△	△	○	×	×
交 通	駅併立までの交通手段（最寄り駅）	○	×	○	×	×
物件・築年数	1 土地付建物 2 土地 3 建物・築(        ) 年	○	×	○	×	×
専有面積・間取り	1 土地(        ) ㎡ 2 建物(        ) ㎡ (        ) LDK	○	×	○	×	×
構造等	1 木造 2 鉄筋コンクリート 3 鉄骨鉄筋	○	×	○	×	×
購入時価格		○	×	○	×	×

【図11】

【融資申込情報】	
融資申込情報ID:	B0035
借入希望金額:	2,000,000円
返済期間:	2年
金利:	固定
融資の目的:	自動車購入
本人情報:	38歳男性(0011様)
家族構成:	配偶者有り 子供2人
勤務先:	〇〇〇商事株式会社
年収:	給与600万円 その他20万円
保有資産:	預貯金150万円 不動産1千万円
負債:	借入金400万円

【図12】



【図13】

融資申込情報ID:	B0035
融資申込者:	0011様
融資可能金額:	2,000,000円
金利:	7% 固定 x 変動
返済期間:	2年
返済条件:	元利均等返済
毎月返済額:	00000円
ボーナス時返済額:	00000円
申込有効期限:	2000年12月10日まで

【図14】

【融資条件 概】			
融資申込倍額ID: B0035			
選択	名称	金利	詳細情報
<input type="checkbox"/>	A銀行	7.0%	<input type="button" value="詳細"/>
<input type="checkbox"/>	B銀行	6.5%	<input type="button" value="詳細"/>
<input type="checkbox"/>	C信用組合	7.2%	<input type="button" value="詳細"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	D信用金庫	6.3%	<input type="button" value="詳細"/>
<input type="checkbox"/>	E信託銀行	8.0%	<input type="button" value="詳細"/>
<input type="checkbox"/>	F郵便局	6.8%	<input type="button" value="詳細"/>

融資申込金融機関